

選挙へ行こう

赤磐市・磐梨中3年 武田 息吹

選挙の投票率が低いと聞いたことはあるがわたしは政治にあまり関心がない。そもそもよく知らない。だが、あと3年で選挙権を持つ年齢であることや、公民の授業がはじまったことをきっかけに、もうそろそろ知っておかなければならないのかなと考えていた。

そんなとき、この記事を読んで、石橋静河さんの言葉が目にとまった。「言いたくても言えなかった

人たちがいるのに、言えるのに言わないのはもったいない。」もっともだと思った。かつて選挙に行けるよう運動をした人たち、女性の差別を無くそうとした人たちが、女性など様々な人たちが、必死に社会をより良くしようとする行動してくれた。そのおかげで、今わたしたちは十八歳以上なら誰でも選挙に行くことができる。それなのに選挙に行かない

のは、その人たちの努力を水の泡に帰してしまう。若い人たちを含めて投票に行かない人が多い現状を知ったら、どれほど悲しむだろう。

有名な俳優など影響力のある人たちが、自分たちの意志で投票を呼びかけている。すごい取り組みだと思う。「選挙に行こう」と思える。投票率が上がり、国民の意見が政治に反映される

と、みんながより暮らしやすい社会になるだろう。

また、投票をするときは、選挙制度や政治の仕組みをはじめ、候補者の主張をよく理解しておくことが大切だと、授業で学んだ。訳も分からず投票に行っても内容で判断できない。一票には重みがある。たった一票ではないのだ。自分の選ぶ一票が適当でいいわけではない。

俳優の小栗旬さん(38)や二階堂ふみさん(27)ら芸能人14人が、衆院選での投票を若者に呼び掛ける映像が18日までに動画投稿サイト「ユーチューブ」で公開され、視聴回数が30万回を超えるなど話題を呼んでいる。

「VOICE PROJECT 投票はあなたの声」と題された約3分半の動画で、16日に公開された。「これは広告でも政府の放送でもなく、僕たちが僕たちの意思で作った映像です」という説明に続き、一人一人が投票への思いを語る。

若者の投票率の低さについて菅田将暉さん(28)は「そんなに少ないんだみたいなことは驚いたし、その中の一人でもあるよな、俺」と吐露。橋本環奈さん(22)は「まず意思を示さない」と

衆院選 若者投票を 動画公開



小栗さんや二階堂さん

動画「VOICE PROJECT 投票はあなたの声」の一場面(ユーチューブより)

とし、二階堂さんは「自分を大切にすることにもつながっているんじゃないかな」と意義を語った。石橋静河さん(27)は女性に投票権がなかった時代に触れ「言いたくても言えなかった人たちがいるのに、言えるのに言わないのはもったいない」と主張。それぞれが「投票します」と宣言し、1票の重みを訴えている。

動画は政党や企業とは関わりのない有志で制作。発起人の一人で映画監督の関根光才さん(45)は「日本で芸能や表現の活動に携わる人は政治的な発言をしづらい状況があったと思うが、影響力のある人たちが『選挙へ行こう』と発信したことで、少しでも風通しの良い社会になればうれしい」と話している。

以前、大勢で話し合いをしているとき、多数決で決定することになった。わたしは話し合いをするのがおっくうで、話をあまり聞かずに、なんとなく手を挙げてしまった。話し合いが終わってから確認すると、自分が思っていたことと違って、さちんと話し合いに参加し、自分の意見を伝えたり、他の人の言うことに耳を傾けておけばよかったと、とても後悔した。

選挙も似ているのかもしれない。自分の考えを持って投票しないと、後で後悔するだろう。同じ失敗をくり返さないように、選挙や政治制度について今からよく学び、十八歳になったら投票をしようと思う。

動画によって、選挙に行く社会をつくる追い風が吹いた。あとはわたしたち一人ひとりが投票をしに、一步を踏み出そう。

2021年10月19日 山陽新聞